

今年度(平成 26 年度)のまちづくり会議について

1. 今年度のまちづくり会議

今年度は、昨年度実施した「まちづくり評価シート」を活用して、中期計画期間(平成 23 年度～25 年度)の成果と課題を明らかにした「戦略計画達成状況報告書」を作成します。その達成状況については、江南市まちづくり会議において、市民と市役所が協働で検証を行い、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には市の実行計画等へつなげていきます。

2. 戦略計画達成状況報告書の構成

戦略計画達成状況報告書の構成は、章立てで以下のような枠組みとします。

第 1 章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

- 1 江南市戦略計画達成状況報告書とは
- 2 江南市戦略計画の進行管理
- 3 行政評価システムの機能
- 4 P D C A のマネジメントサイクル
- 5 まちづくり会議の役割

第 2 章 中期計画期間の重点戦略

- 1 市民協働の推進
- 2 安心・安全に暮らせる環境づくり
- 3 子育て支援・次世代を担う人材育成
- 4 市民生活に直結する都市生活基盤の整備

第 3 章 中期計画期間の達成状況

- 1 全体の目標達成状況
- 2 各分野の目標達成状況
 - I 生活環境、産業分野
 - II 健康、福祉分野
 - III 都市生活基盤分野
 - IV 教育分野
 - V 経営、企画分野

巻末資料

「資料4 まちづくり評価シート」をベースに、まちづくり会議(分野別会議)で作成します。

※ 達成状況報告書のイメージは、資料の 5 ページ以降を参照ください。

3. まちづくり評価シートの見方

まちづくり評価シートには、柱ごとに江南市戦略計画基本計画に掲げられた指標の達成状況や取り組み状況などを掲載しています。また、それらを踏まえ、「全体目標に対するまちづくり評価」、「個別目標に対するまちづくり評価」、「柱全体のまちづくり評価」の内容を市役所でたたき台として作成しています。

まちづくり会議の中では、このまちづくり評価シートをもとに、市民と市役所で意見交換をしながら、必要に応じて内容の追加、修正、削除などをします。

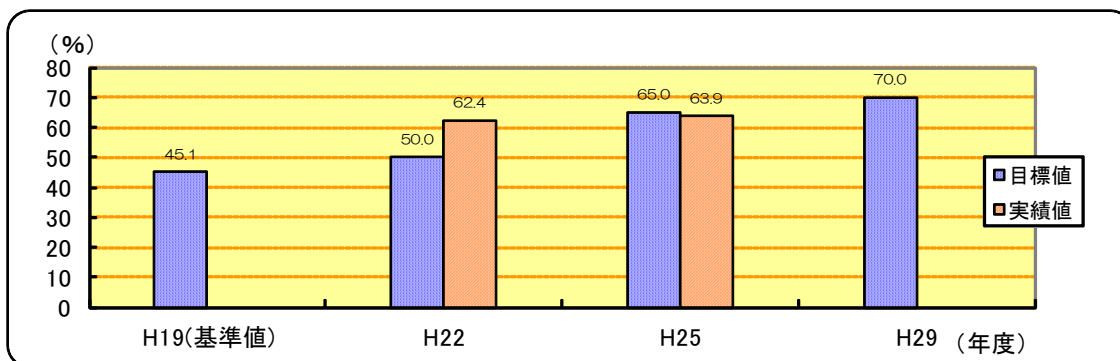
まちづくり評価シート

危機管理室【担う分野: I 生活環境、産業分野】

防災安全課【担う柱: 1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標	犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。			
指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 自主防災訓練、総合防災訓練、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を継続しながら、新たに同報系行政防災無線、防災ラジオを整備することにより、概ね目標は達成しているが、東日本大震災発生を受けて、南海トラフ巨大地震への懸念が高まり、実績値としては微増に留まっている。
目標値	%	—	65.0	
実績値	%	45.1	63.9	
達成率	%	—	98.3	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

戦略計画に掲げられた目標値は概ね達成できているが、今後も大規模災害に対する行政面での体制づくりや交通安全、防犯などに対しても適切な対応を継続する必要がある。
また、防災センター建設による市民の期待に応えるべく、さらに安心して暮らせる街であると実感できる取り組みが必要である。

■ 昨年度の内容をベースに時点修正が必要な場合は、市役所で「たたき台」として修正しています。

個別目標① 災害への備えが行われている

指標名	防災用資機材助成の申請率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	93.0	95.0	自主 ■ H25 実績値、取り組みの状況などを追加しています。
実績値		83.8	80.9	82.3	79.4	
達成率		—	89.9	88.5	83.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。
市役所	自主防災会会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。

目標達成のための今後の展開方針

自らの命は自らで守るという災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方と意識を会を通じて、継続的に啓発する。
 区長町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材の整備を含めた自主防災組織の重要性を説明することにより、地域防災力の向上を図っていく。
 同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。
 被災地支援には、要請に応じて適宜人員を派遣できるよう準備、調整を図る。
 地震を想定したBCP(業務継続計画)の作成について検討していく。
 災害データを蓄積させることにより、迅速な災害対応が可能となるように、防災システムを適切に運用していく。

個別目標に対するまちづくり評価

東日本大震災での報道等を見聞きして、初動体制の確立、災害予想や災害復旧計画の再認識することができた。この地域でも、近い将来大きな地震が発生する可能性が極めて高いことを認識し、携して取り組んでいける関係を構築していく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災会合同訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力のある程度高めることができた。
 同報系防災行政無線、移動系防災行政無線、防災ラジオ、全国瞬時警報システム(J-アラート)と連動したあんしん安全ねっと、携帯エリアメールなど各方面からの情報伝達手段を整備し、有事の際の情報伝達力を強化したことにより、安心・安全なまちづくりに貢献した。
 地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安全・安心を守るリーダー役の高齢化が進んでいるので、今後は若いリーダーがコミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるよう自治会に要請する。
 すでに整備済みの情報伝達手段の保守、点検の実施し、効果的に活用することにより、有事の際に、確実に情報が伝達できるように努める。
 また、交通安全施設に関しても、交通通事故危険箇所への効果的な新設や既存の交通安全施設の保守、点検を実施し、交通安全に寄与するよう努める。

■ H25 実績値、取り組みの状況などを追加しています。

■ H25 の達成状況を踏まえ、修正しています。

■ H25 の達成状況を踏まえ、時点修正が必要な場合は、市役所で「たたき台」として修正しています。

■ 昨年度の内容をベースに時点修正が必要な場合は、市役所で「たたき台」として修正しています。

4. まちづくり会議のスケジュール

【分野別会議】

年度	開催時期	会議の検討内容
平成 26 年度	10 月 20 日（月） 午後 1 時 30 分～ 分野ごとに 2～3 回程度	戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）についての意見交換

【全体会議】

年度	開催日時	会議の検討内容
平成 26 年度	12 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分～ 【防災センター 2 階 セミナー室】	戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）についての意見交換、とりまとめ

5. 戦略計画達成状況報告書の公表

まちづくり会議（分野別会議・全体会議）で取りまとめた戦略計画達成状況報告書については、広く地域の構成員が共有できるよう、平成 27 年 3 月ごろ、広報、ホームページで公表します。また、市議会議員、関係機関等へ冊子を配布します。

参 考

<イメージ>

江南市戦略計画

みんなの郷土 みんなで築くプラン

中期計画期間 平成23年度～平成25年度

達成状況報告書



江南市

目 次

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方	1
1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは	1
2. 江南市戦略計画の進行管理	1
3. 行政評価システムの機能	2
4. PDCAのマネジメントサイクル	2
5. 江南市まちづくり会議の役割	2
第2章 中期計画期間の重点戦略	4
1. 市民協働の推進	4
2. 安心・安全に暮らせる環境づくり	4
3. 子育て支援・次世代を担う人材の育成	5
4. 市民生活に直結する都市基盤の整備	5
第3章 中期計画期間の達成状況	6
1. 全体の目標達成状況	6
2. 各分野の目標達成状況	10
I 生活環境、産業分野	16
柱1 安心・安全な地域づくり【防災安全課】	17
柱2 消防・救急体制の充実【総務予防課、消防署】	21
柱3 快適で便利な日常生活の確保【市民サービス課】	27
柱4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興【産業振興課】	32
柱5 自然と調和した快適な生活環境の確保【環境課】	41
柱6 ごみ減量と適切な処理の推進【環境課】	46
II 健康、福祉分野	50
柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者生きがい課】	51
柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て支援課、福祉課】	55
柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【福祉課】	62
柱4 健康な生活の確保【健康づくり課】	66
柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金課】	72
柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保【福祉課】	76

III 都市生活基盤分野	80
柱 1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり 【まちづくり課】	81
柱 2 人にやさしいみちづくり 【土木課】	85
柱 3 花と緑あふれる公園づくり 【まちづくり課】	88
柱 4 公共下水道の普及促進 【下水道課】	91
柱 5 浸水被害のないまちづくり 【土木課】	94
柱 6 安心・安全な住環境の確保 【建築課】	97
柱 7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給 【水道課】	100
IV 教育分野	104
柱 1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり 【教育課】	105
柱 2 将来にわたって活躍できる人づくり 【教育課】	112
柱 3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり 【生涯学習課】	115
柱 4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実 【生涯学習課】	120
V 経営、企画分野	126
柱 1 地域協働の推進 【地域協働課】	127
柱 2 戦略的な行政経営の推進 【秘書政策課、行政経営課】	132
柱 3 公平かつ適正な課税・収納 【税務課、収納課】	138
柱 4 効率的かつ円滑な事務管理の推進 【総務課、会計課、監査委員事務局】	142
柱 5 より開かれた適切な議会運営への支援 【議事課】	147
巻末資料	149
1 成果目標一覧	150
2 江南市まちづくり会議の開催経緯	163
3 江南市まちづくり会議設置要綱	165
4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）	167
5 まちづくり評価シートの見方	168
6 達成率及び達成状況の算出方法	171
おわりに	172